

『Mind Charging』

第 80 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 7 月 15 日

エマーソンの名言



Fear always springs from ignorance.

恐怖は常に無知から生じる。

無知という言葉調べると『知識(知恵)のないこと』とあります。知識とは、『認識によって得られた成果、あるいは、人間や物事について抱いている考えや、技能のこと』とあります。知恵とは、『道理を判断し処理していく心の働き。筋道を立て、計画し、正しく処理していく能力』とあります。これらの言葉の意味から考えると、“知識”については得られるものは膨大ではありますが、それらを全て得ることは不可能だと思います。“知恵”については、一つの知識から一つしか生まれないものではなく、バリエーションを増やしていくことが可能であり、それはそれぞれの『アレンジする力』が試される部分だと考えます。

みなさんと同じ高校生であれば、知識が全くないという人はいないはずです。しかし、『知識＝知恵』と考える人や、『知恵は自ら生み出していくもの』ということ認識していないということが考えられます。そして、『自分の持っている武器(知識・知恵)に自信が持てない』という“不安”が、本来は持っているはずのものを見つけれず、自分を無知だと思い込み、恐怖に襲われるのではないのでしょうか。そう考えると、盛んに『自分への挑戦』と言われる意味がわかります。

なんでも上手にクリアする人を見ると、『あの人はすごいな・・・それに引きかえ僕は・・・』などと、自分の無力さに嫌気がさすことがあります。しかし、自分の持つ武器に自信があれば、どんな困難にも恐怖を感じないなんてことはないはずです。最終的には“勇気”であり、その追い風になるものが知識や知恵といった自分の武器なのではないでしょうか。

アレンジする力などと言われると、“センス”が問われるわけで、『自分にはそんなセンスはない』と、ネガティブに捉えがちですが、センスは磨くものだと思います。知識を深めるために勉強することと同じです。努力した成果は様々な形で表現することができます。自分の自信に繋げる学びを正智深谷で深めていきましょう！(編集委員：入試広報室 鈴木)

ラルフ・ウォルドー・エマーソン(Ralph Waldo Emerson、1803年5月25日 - 1882年4月27日)は、アメリカ合衆国の思想家、哲学者、作家、詩人、エッセイスト。無教会主義の先導者。娘のイーディス(Edith Emerson)がウィリアム・ハサウェイ・フォーブス(英語版)と結婚し、エマーソン家は一層格式の高い門閥となった。Waldoはウォルドウ、ウォルド、ワルド、Emersonはエマソン、エマスンなどと表記される(英語では、Emersonは第1音節にアクセントがある)。(Wikipedia 参照)